

既存メディアが何故か伝えないニッポンの真実を奥様が伝える！

このチラシは、特定の政党・宗教等と無関係の普通の主婦仲間が自費で製作・配布しています。回覧・コピー・再配布大歓迎です。発行：可愛い奥様新聞部 頒布：可愛い奥様ポスティング部

誘導するマスコミ

報道の陰にあるもの

「政治は誰がやっても同じ」
 「国のために本気で頑張っている政治家なんていない」
 テレビから流れる情報だけを見て、そんな風に諦めていませんか？マスコミは、インパクトが強い部分だけを切り取って編集し、視聴者が持つ印象を自分たちの都合のいい方へと誘導します。

その一例が、当時財務・金融担当大臣だった故・中川昭一氏の「もうろう会見」です。

世界的な金融危機が起って来た当時、日本が提示した金融政策が金融サミットで採択

されました。しかもそれは、日本の財政負担なく利益を得られる、国益に適うものでした。

連日バッシングされた会見報道の裏側で、IMF選任理事をはじめ世界各国からは「人類史上最大の貢献だ」と賞賛を受けていた——この事実を知っている人はどれだけいるでしょうか。

大きく報道されなかった中川氏の功績は、他にも数多くあります。農水大臣在任時は、残留農薬で問題となった中国産食材の輸入を制限し、食の安全を守りました。北朝鮮の拉致問題では、拉致議連の会長も務め、拉致被害者5人の帰国を実現させました。また、法案名とは裏腹に、言論弾圧

憂川柳

マスコミに 踏みじられる 愛国心

ペンネーム 極悪メディアは日本のガン

の逆差別を生みかねない「人権擁護法案」(現名称は「人権救済機関設置法案」)にも一貫して反対の立場でした。「子ども達が日本人であることに誇りを持てる教育を」と、教科書問題にも熱心に取り組みました。

これらは、インターネットで検索すれば、YouTubeなどの動画サイトで簡単に確認できます。

「試しにやらせてみよう」
 マスコミの言葉に乗せられ、政権交代した結果はどうでしたか？民主党の政治家には、外国人団体から献金を受けてい



↑「政治家はわが身無念と思えども、国の為なら本懐なり」彼の早世を悼み、そう弔辞を述べた盟友・麻生氏との笑顔の1枚



最新号がすぐ読める！

公式ツイッター&サイト
<http://twitter.com/eputsunew>
<http://eputsu.blogspot.com/>



本を愛していた中川氏は、亡くなる直前まで「日本が危ない」と訴えていました。「日本のために」「日本を良くしよう」と頑張っている政治家は、まだ確実にいます。どうかご自分で調べ、見極めて下さい。

引越しおばさんの真実

